

# みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2013/06/30

Vol.40

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

## 平成 25 年 第 2 回 印西市議会定例会報告 (2) ～ 印西市の「保育園待機児童問題」を語る (1)

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会 (6 月議会) は、6 月 21 日 (金) 迄の会期にて行われ、閉会しました。

### 6/14(金曜日)に一般質問に立ちました。

以下、市当局への質問と回答です。

#### 2. 待機児童対策と子育て支援制度について

5 月 20 日、横浜市が「2010 年から 3 年間で (待機児童数を) ゼロにする」という目標を達成したと発表しました。また、この発表に先立ち、厚生労働省は、約 25000 人の保育所待機児童の解消に向け、当初は 2015 年 4 月から解禁する予定だった認可保育所への株式会社の参入を月内 (5 月中) にも全面解禁する方針を固め、認可権限を持つ都道府県や政令指定都市、中核市に通知したと聞きます。印西市ではこの動きを受けて、「待機児童対策」として、どのような施策を行うのか。待機児童ゼロを目指せるのか。

(1) 平成 25 年 4 月の「保留児童」は 99 名と聞かすが、今年度の待機児童対策として具体的な施策はあるのか。

(2) 平成 26 年 4 月に新規 2 園開園する予定となっていると聞かすが、その後のスケジュールはあるのか。

【回答／健康福祉部長 (抜粋)】平成 25 年 4 月の保育園の待機児童数は 48 人となっており、希望する保育園に入れない保留児童は 99 人となっています。現在、市では待機児童対策として民間保育園施設整備費等補助金により、私立保育園の整備を進めていて、平成 26 年 3 月に印西総合病院の敷地内に 1 園と、平成 26 年 4 月に中央駅北地区に 1 園が開園する予定となっています。また、牧の原駅南地区に民間保育園の設置を希望している団体があり、民間保育園施設整備費等補助金をお願いしています。(ぐんじ補足／6 月議会で議案可決しました。) これらの民間保育園の整備などにより待機児童を解消していきたいと考えています。

#### ▼ 参考 平成 25 年 4 月現在の保育園入園保留児童数 99 名\*の内訳

(\*希望する保育園に入れない児童数)

0 歳児 11 名、1 歳児 36 名、2 歳児 34 名、3 歳児 15 名、4 歳児 2 名、5 歳児 1 名

待機児童数 (空きがなく保育園自体に入れない) 48 名の内訳 = 1 歳児 23 名 2 歳児 25 名

(再質問) 平成 26 年 3 月ないしは 4 月に開園予定の 2 つの保育園は、0～2 歳児をどのくらい受け入れできるのか?

【回答／健康福祉部長】0 歳児から 2 歳児の受け入れ人数については、2 つの園で、合計 80 名程度を予定しています。

【小倉すくすく保育園】(NT 北地区) 定員 90 名 (0 歳児 15 名 1 歳児 15 名 2 歳児 15 名 他)

【元気っ子保育園 (印西総合病院脇)】 定員 72 名 (0 歳児 12 名 1 歳児 12 名 2 歳児 12 名 他)

（ぐんじとしのりより皆様へ） 4月現在の保留児童が 99名だからといって 80名の保育園入園ができ、さらに牧の原駅南側（草深地区）に保育園ができ「待機児童解消！」と考えるのは、甘いと思います。なぜか。本年2月の待機児童数は、154名です。今年度の状況を見ていると、このまま対策を施さなければ、年度末には200名に達する可能性があります。保育園が足りないのです。。

また、来年の話をされても、困っている人は「今」困っていて、対策をするのは「今でしょ？」

【再質問】 家庭的保育事業の拡大について ～ 即効性の高い当事業について、事業規模を拡大してほしいが、市の考えは？

【回答／健康福祉部長】家庭的保育事業については、市としても即効性の高い事業と認識していますので、事業の拡充について検討していきたい。

【再質問】 具体的に今年度の実施はできないのか。

【回答／健康福祉部長】予算の確保や場所の選定、事業者の選定等ありますので、今年度の実施は難しいと考えます。

（ぐんじとしのりより皆様へ） 現在、原山地区（UR原山団地）で実施している家庭的保育事業（「にこにこルーム原山」）は定員9名で現在満員です。しかし、この事業は、巨額の資金を投入して保育園を建設するより、マンションの1室を改装するなりして、事業の即効性があり、保育園入園児童が減少した場合には撤退することも可能です。今、困っている方々の声を受け止め、事業を推進するためには有効だと私は考えています。（NT中央南北地区にひとつづつ、牧の原南地区にひとつ、滝野地区にひとつできれば、それで36人（9人\*4箇所）解消できるのですが、難しいでしょうか。私は、今年の3月議会でも、6月議会同様の以下のような質疑を行ないました。

【回答／健康福祉部長】今、なにをしなければいけないのか、ママたちは、「今、困っている。即効性のある対応は？」私個人としては「家庭的保育事業」を増やすべきだと考えるがどうか。

【回答】 今年度（平成24年度）、待機児童の対策として、家庭的保育事業を実施し実績としてのべ15名の利用者があり、小人数ではありますが待機児童対策となっているところです。

市としては、家庭的保育事業の拡充については、実施場所の確保、事業者の選定、予算の確保等ある程度の期間も資金も必要となってまいります。今後、民間保育園の施設整備補助と併せ、家庭的保育事業の拡充も行っていきたいと考えています。

【再質問】（平成25年2月時点の）保留（待機）児童数はニュータウン中央南地区で55人、ニュータウン中央北地区で20人、牧の原・草深地区が16人といった数になっているので、即効性のある対応で家庭的保育事業を考えるべきではないかと思う。市長いかがか？

【回答／市長】 検討していく。

=====

「住みよさランキング」（東洋経済オンラインより）で、私たちの印西市が今年も全国789市の中で1位となりました。（2年連続です。）表面的に見れば、喜ばしいことだと思います。

しかし、「安心度」では633位と低く、「子育て環境」も待機児童対策ひとつをとっても満足できるものではありません。今後、印西市は「待機児童対策」として何を考えるべきか？次回以降、この紙面で提示させていただきたく思います。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。（紙面の内容についてはお住まいのエリアにより、若干異なっております。）

市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。（随時更新しています）市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく願います。

ぐんじとしのり